

目標達成計画

作成日: 令和 1 年 9 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | | 課題は人材の定着と育成である。理由は2つある。①過去に採用しても、様々な理由で早期に退職する者もあり、育成の段階や方針を明確にすれば目標も見え、意欲も高まると考える。②新入社員の雇用が出来ていない。将来の施設の基盤を担う若手を育てる育成ビジョンが必要である。 | ・全職員で新人を育成することで、新人職員に職場の風土をいち早く理解してもらえ、また介護の楽しさを知ることができ、人材の定着を図れる。 ・新入社員を雇用する受け入れ態勢を構築し、今後の施設基盤を固める。 | 自己評価項目13 ①新人職員の育成プログラムを作成する。募集告知を自社ホームページを活用し、魅力を発信する。②全職員でプログラムの合意形成を図り、育成する意識を一枚岩にまとめる。③入社後の定期面談による不安の払拭と目標を明確に伝える。 | 6ヶ月 |
| 2 | | 今後の課題として、世代に合った家族とのあり方や接し方を変える必要がある。昨今、利用者家族の形が変化しており、以前と比較して家族の年齢層が50代が大半を占め、世代が若年化していることや成年後見人も増加し、施設への要望も以前よりも変わりつつある為である。 | ・ご家族とのコミュニケーションの場や機会を増やすことで、施設への意見や要望を頂く時間を多くのご家族と共有し、信頼関係を今まで以上に強いものとする。 | 自己評価項目19 ご家族との意見交換の機会を作る。例えば、年1回の家族会だけでなく、『交流会』と題して、新たに意見交換の場を設定する。 | 6ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。